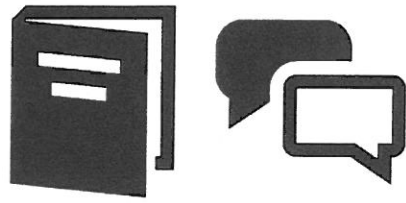




2017年4月から、フランス語文学文化専攻は  
学ぶ内容、目的、スタイルが明確なふたつのコースを



## 語学文学文化コース

## 広い視野で フランスを知る

□このコースでは、読むこと、書くこと、聞くこと、話すことを通じてフランス語を身につけ、それをもとにしてフランスの文学と文化を幅広く知ることが学修の目的です。長期・短期の留学を含めて多彩で自由度の高いカリキュラムで自らの関心を広げ、伸ばすスタイルの学修です。卒業研究では、あなたのお好みのテーマを選んでください。

◎ 特徴⇨ 「小説を読む」 だけではありません。

- ✓ フランス語を基礎から応用まで学び、しっかり身につけられます。
- ✓ 文学、映画、食文化など幅広い領域をカバー。卒業研究のテーマも自由です。

専攻共通 1年次の学び	フランス語を基礎から学ぶ	仏文基礎演習
	入門講義で コース選びの参考にする	フランス文学史
		フランス文化史 フランス美術史

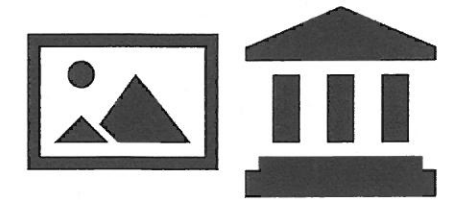
### information

- ・入試は現行通り、専攻で一括して行います。
- ・1年次は共通のカリキュラムで、フランス語の基礎を中心に学
- ・コースには、2年次から分かれます。コース選択の希望は、
- ・相互に他コースの授業を履修することができます（ゼミなど一部、例外

# コースを選ぶ

カリキュラムを大きく改定します。  
設置して、成長したあなたを社会に送り出します。

## 「アート」の ライセンス！



## 美術史美術館コース

□このコースでは美術の見かたと美術館の活動について学び、受け身の「美術鑑賞」を超えて、アートが社会の中で果たす役割について考えます。学修は見学や旅行もまじえつつ、系統的に学んで専門性を身につけるアクティブなスタイル。学芸員課程とリンクしたカリキュラムで、資格を手にも社会に巣立つことを目指します。

◎ 特徴⇨ 高校の「美術」と違って、絵を描きません。

- ✓ フランスとヨーロッパの美術の歴史を系統立てて学びます。
- ✓ 美術館見学を織り交ぜて、専門的な観察法を実践的に身につけます。

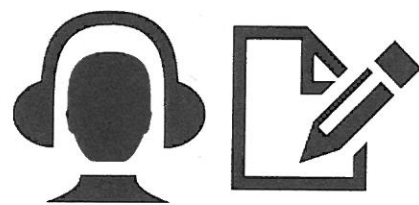
- ・週に2回の授業で、フランス語をゼロから学んでいきます。
- ・授業はクラス担任+1名で担当。担任は、大学生活のスタートもサポートします。

- ・フランスの文学や文化、美術を背景となる歴史や地理も含めて紹介する講義です。
- ・どの授業も、予備知識や強い関心が（まだ）なくても理解できる内容です。
- ・入学時に進むコースを決めていない人は、この授業を参考に次のステップに進んでください。

びます。  
原則としてそのまま受け入れられます。成績による振り分けや定員はありません。  
があります。



フランス語文学文化専攻のふたつのコースは、  
あなたの関心に合わせてコースを選び、



## 語学文学文化コース

## ことば、文学、 文化の散策

□このコースのカリキュラムは、ことば、文学、文化を柱とする多彩な科目からできています。履修方式は自由度が高く、メニュー作りはあなたの選択に任されています。文学（小説、詩、演劇など）以外に、フランス映画や食文化などさまざまな分野に触れる中から、卒業論文のテーマを見つけてください。

### ◎ 主な授業科目 ⇨

- ✓ フランス語を知る、磨く：「フランス言語思想」で大学ならではの「ことばの学問」に触れ、「フランス語学演習」、「コミュニケーション演習」、「資格のフランス語」、「留学のフランス語」などで、生きたフランス語を身につけます。
- ✓ フランス文学を読む：「フランス小説」、「フランス詩」、「フランス文学演習」などで、各ジャンルの作品を教員とともにじっくり読みます。
- ✓ フランス文化を知る：「フランス映画」、「フランス文化研究」、「フランス文化演習」などで、幅広い文化的トピックスに触れます。
- ✓ 語学文学文化専門演習（ゼミ）：専門家のゼミで文学と文化をじっくり掘り下げ、卒業研究を仕上げます。課題に基づく卒業研究を選択することもできます。

information

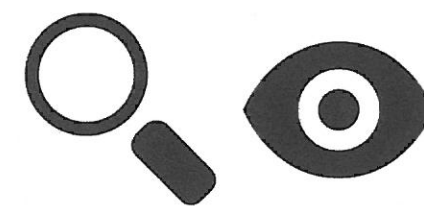
留学

- ・ フランス語文学文化専攻では、フランス、スイス等の多
- ・ 春季休暇にエクス=アン=プロヴァンスへの短期語学留
- ・ その他、英国やオーストラリアなどフランス語圏外に留

# コースで学ぶ

内容と学ぶスタイルに違いがあります。  
前向きに学べるよう設計されています。

## アートの 植物学？



## 美術史美術館コース

□美術作品が「分かる」人は特別だと思いませんか。本当は、作品を見て考えることは誰にでも開かれている楽しい経験です。植物学者がいろいろな植物をじっくり観察するように、教室ではスライドで、美術館\*では実物を、専門家の手ほどきでまずは観察しましょう。どんどん違いがわかるようになりますよ。また科目の一部が学芸員資格科目をそのまま兼ねているので、資格取得の負担が軽減されます。

\*中央大学は「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しているため、国立美術館に優待入館できます。

### ◎ 主な授業科目 ⇨

- ✓ 西洋美術の歴史を知る：「美術史概論」と、3種の「美術史各論」講義で、フランスやヨーロッパの美術の流れをスライドを通して楽しく旅します。
- ✓ 美術と美術館の世界に踏み込む：「美術史美術館入門演習」「美術史美術館演習」で作品の観察法を身につけ、感性を磨きます。実際に美術館を訪ねて、作品だけでなく建築、展示法、催しなどいろいろな側面から楽しみます。
- ✓ 美術史美術館専門演習（ゼミ）：関心を同じくする仲間、教員とともに、2年間の議論、発表、見学、卒論を通じて成長する場です。

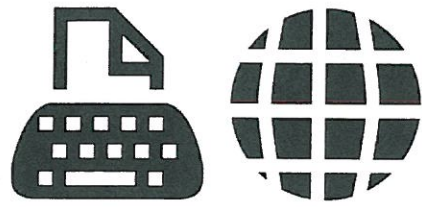
くの大学と提携しています。

学プログラムがあるほか、1年間の長期留学先もあります。奨学金も用意されています。学して、国際感覚を磨く人もいます。





ことばと文化に触れることなく、人間ふたつのコースでことばと文化を学んだ経験は、



## 語学文学文化コース

### 広い知識と 関心を生かす

□フランス語に限らず外国語を学ぶ経験は、あなたのコミュニケーション能力を確実に伸ばす貴重なものになるはずです。またこのコースで触れられる各種の文化的トピックは、将来を考える上で大切なヒントになるでしょう。

フランス語の能力はまだ希少価値。検定試験を受けることで、その能力を証明することもできます。さらに、ことばをあやつり文化を語ることは、いろいろな分野で生かすことができる資質です。留学体験を生かして将来を模索するのも楽しい可能性です。

#### ◎ 期待される進路⇐

- ✓ フランス語を生かして：通訳、翻訳、語学学校講師、商社など。
- ✓ 文学から学んだことを生かして：編集者、出版、メディア、書店など。
- ✓ フランス文化の知識を生かして：航空、旅行、国際交流、食品、アパレルなど。
- ✓ その他文化全般に関わる進路へ：映画、映像、イベントなど。
- ✓ 大学院に進学して：大学教員、語学学校スタッフなど。

#### information

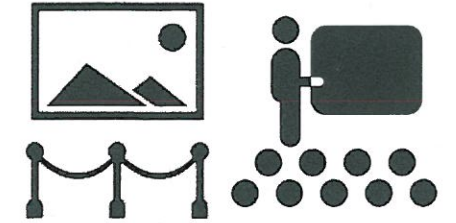
#### 大学院 進学

- ・ 大学院は、学部で学んだことに関心を持ち、基礎知識を得た上での進学です。
- ・ 大学院の教育は担当教員によるマンツーマン主体です。
- ・ 大学院は、特別な人が進学するところではありません。

# 社会に飛び立つ

として生きることは不可能です。  
社会に役立ち未来を豊かに生きる糧となります。

### 知識と感性を 役立てる



## 美術史美術館コース

□話題の美術展に数万人（場合によっては数十万人）が押し寄せるのを見ても分かる通り、「美術」は社会的評価の高いテーマです。この分野の専門知識を得ることは、大学でしかできません。さらに学芸員資格という国家資格で、それを証明することもできます。それを生かしてすぐに社会に飛び出すもよし。大学院に進学して、専門家として美術館あるいは大学のスタッフを目指すもよし。いろいろな可能性を思い描くことができます。

\*美術史担当教員のゼミサイトも参考にしてください。

<http://c-faculty.chuo-u.ac.jp/~abes/arthistory/> または「中央大学 美術史ゼミ」で検索！

#### ◎ 期待される進路⇐

- ✓ 西洋美術史の知識を生かして：ライター、エディター、クリエイター、出版、印刷、広告、メディア、旅行、美術ギャラリー、オークションなど
- ✓ 美術館の知識を生かして：文化財団、公務員、建築、都市開発、ディスプレイデザイン、空間デザイン、損害保険（美術品部門）、運輸（美術品部門）、イベントなど
- ✓ 大学院に進学して：美術館学芸員、大学教員、美術学校スタッフなど

テーマについて、さらに掘り下げて学ぶところです。その証として、学位（修士号、博士号）を取得

あなたの関心とペースに合わせた学修が可能です。  
専門職業人として活躍したい人のための、「上級コース」です。